

みずほCustomer Desk Report 2024/06/13号 (As of 2024/06/12)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	157.24
TKY 9:00AM	157.13	1.0740	168.81	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	157.36	1.0852	169.54	1.2737	0.6607
SYD-NY Low	155.73	1.0735	168.67	1.2859	0.6705
NY 5:00 PM	156.71	1.0809	169.40	1.2733	0.6597
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,712.21	▲ 35.21	日本2年債	0.3400%	▲0.0300%
NASDAQ	17,608.44	264.89	日本10年債	0.9900%	▲0.0300%
S&P	5,421.03	45.71	米国2年債	4.7550%	▲0.0770%
日経平均	38,876.71	▲ 258.08	米国5年債	4.3179%	▲0.0978%
TOPIX	2,756.44	▲ 20.36	米国10年債	4.3170%	▲0.0841%
シカゴ日経先物	39,165.00	265.00	独10年債	2.5340%	▲0.0870%
ロンドンFT	8,215.48	67.67	英10年債	4.1240%	▲0.1430%
DAX	18,630.86	260.92	豪10年債	4.3150%	▲0.0085%
ハンセン指数	17,937.84	▲ 238.50	USDJPY 1M Vol	8.62%	▲0.34%
上海総合	3,037.47	9.42	USDJPY 3M Vol	8.81%	▲0.14%
NY金	2,354.80	28.20	USDJPY 6M Vol	9.26%	▲0.09%
WTI	78.50	0.60	USDJPY 1M 25RR	▲1.23%	Yen Call Over
CRB指数	295.14	2.39	EURJPY 3M Vol	8.66%	▲0.12%
ドルインデックス	104.65	▲ 0.59	EURJPY 6M Vol	9.03%	▲0.10%

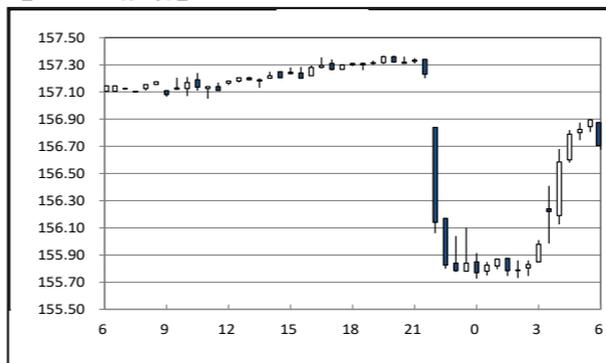
【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想	
6月12日	10:30	中	PPI(前年比)	5月	-1.4%	-1.5%
	10:30	中	CPI(前年比)	5月	0.3%	0.4%
	15:00	独	CPI(前年比/前月比)・確報	5月	2.4%/0.1%	2.4%/0.1%
6月13日	21:30	米	CPI(前月比/前年比)	5月	0.0%/3.3%	0.1%/3.4%
	21:30	米	コアCPI(前月比/前年比)	5月	0.2%/3.4%	0.3%/3.5%
	03:00	米	FOMC政策金利(上限)	12-Jun	5.50%	5.50%
	03:00	米	FOMC政策金利(下限)	12-Jun	5.25%	5.25%
	03:30	米	パウエルFRB議長 講演		「インフレは大幅に緩和したが、依然として高すぎる」	

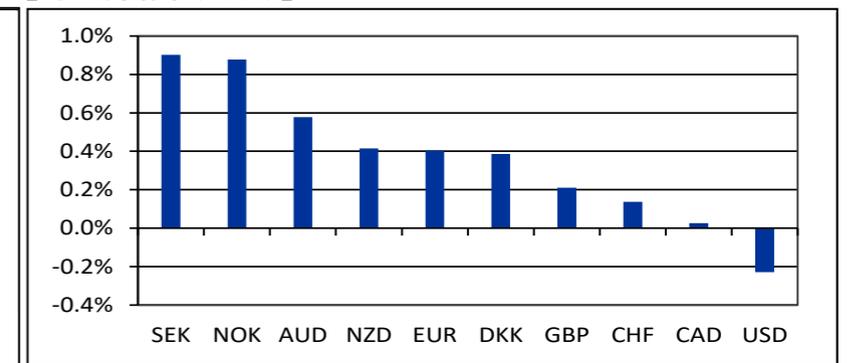
【本日の予定】

Date	Time	豪	Event	予想	前回	
6月13日	10:30	豪	雇用者数変化	5月	30.0k	38.5k
	10:30	豪	失業率	5月	4.0%	4.1%
6月14日	18:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	4月	0.2%	0.6%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	8-Jun	225k	229k
	21:30	米	PPI(前月比/前年比)	5月	0.1%/2.5%	0.5%/2.2%
6月14日	01:00	米	ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	156.00-158.00	1.075-1.0900	168.50-170.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は、下に往ってこい。157円台前半で取引開始後、米経済イベント待ちの膠着相場となっていたが、米5月CPIの予想を下回る結果を受けて155.73まで急落。その後FOMCにおいては事前予想通り政策金利据え置きとなったが、ドットチャートにおいて2024年の利下げ回数が1回と示されると上昇に転じた。さらにパウエル議長が会見にてハト派姿勢を強めた様子は伺えなかったことから、156円台後半まで値を戻しクローズした。本日は米5月PPIが発表されるほか、ウィリアムズ・NY連銀総裁、イエレン財務長官による討論会などが予定されている。昨日のCPI同様、PPIの結果も弱含めば上値は重くならうが、様子見姿勢を堅持するFEDが容易にハト派転換するとは思えない。寧ろ、予想を上回った場合の利下げ織込み剥落、ドル円上昇に警戒したいところ。また、本日より日銀金融政策決定会合が開催される。結果の発表は明日だが、事前のリーク報道には注意が必要だろう。

東京	東京時間のドル円は157.13レベルでオープン。午前中は157.10銭台を中心にもみ合う展開。午後に入ると日経平均株価が下げ幅を縮小する中、クロス円の円売りが優勢となり、ドル円もじり高となった。結局157.20レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、157.20レベルでオープン。午後には米5月CPIの発表やFOMCを控える中、底堅く推移し、結局157.34レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米CPI、FOMC結果を控え157.20付近での推移が続き、157.34レベルでNYオープン。朝方は米5月CPI結果が前月比、前年比、ヘッドライン、コア共に予想下回り、ドル売りが一気に持ち込まれ156.30まで急落する。その後も米金利が低下する中、155.73まで下落する。午後にはFOMC結果発表を控え155.80付近での推移が続くが、FOMCで政策金利が予想通り据え置かれる中、四半期ごとの更改される経済・金利見通しで年内の利下げが1回に上方修正されたことが明らかになり、4名が利下げゼロを予想したこと等からドル買いが持ちこまれ、156.41まで戻す。その後もパウエル議長が金利はハト派の水準に戻らないと考え始めた等の発言もあり、米金利が上昇する中156.90まで戻し、156.71レベルでクローズした。一方、ユーロも海外市場では狭いレンジでの推移が続くがNYオープン前からやや買いが優勢となり、1.0765レベルでNYオープン。朝方は米CPI結果を受けたドル売りに1.0827まで急伸し、その後も米早期利下げ期待から1.0852まで戻す。しかし午後には発表されたFOMC結果は、利下げ見通しが上方修正される等効派と取れる内容となり1.0815まで反落する。その後もパウエル議長の記者会見を受け米金利が戻す動きを受け1.0804まで反落し、1.0809レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。